

令和6年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和6年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和6年7月24日（水）10：30～12：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・桐山事務局長・柏原教務主任

○松林校長より

職業実践認定校として、自己評価委員会での課題をふまえ、より良い学校になるために、改善に取り組んでいます。

時代の変化に合わせた学校にしていかななくてはと考えておりますので、第三者からの意見は貴重であります。

今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和6年度第1回自己評価委員会報告

令和6年度中間報告として、教育理念の3項目・学校運営3項目・教育活動の5項目・学修成果4項目・学生支援6項目・教育環境3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の順守2項目・社会貢献2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

今後の課題

- ① 学校管理システムの構築→10月校長主任会にて提案し具体化していく
- ② 国家試験学科対策の強化

中項目の捉え方として、両校差があるが、各校の特色として自己評価へとつなげてほしい。

学校組織の在り方として、両校で意見を出し合い、箇条書きにして優先順位をつけて検討して欲しい。

今年度も引き続き、生徒募集に力を入れてほしい。

（基準1）総括 環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。また美容業界・自立し力強く活動していくための総合的な力を養うとともに、相手の立場に立った必要なコミュニケーション力を身に付けられるよう、「礼儀・挨拶・整理整頓」を重点目標として指導している。

- ・人と社会との繋がりを大切にし、職業人として生き抜く力を身に付けさせる。
 - ・選択科目を時代のニーズに合った内容に見直し、一層即戦力に繋がるカリキュラム内容になった。
 - ・自宅待機である感染した生徒には、履修同等の課題を明確にし、学びを止めることなく履修できている。
- で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・教育理念は大事である。経営側がぶれないこと。我が社の理念として、喜びも種まき 育ち育てるという考えのもと、美容師育成を行っている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・教育理念はとても大事だと評議員会の際も感じた。職員・生徒のみでなく、外部講師の方々とも共有した方が良い

今後の改善方策

- ・今後、教育理念を講師も含め共有していきたい。

(基準2) 総括 第8次5か年計画(令和2年～6年)を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を行う。

- ・運営方針を広く周知するために、ホームページや学校パンフレットの見直しを行い、見る人の視点に立った内容にしていく。
- ・現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成。
- ・教職員の人材不足は深刻な状態。十分な教育を提供するためにも、学生の多様化に合わせ、担任だけでなく各学科各学年に副担任が必要。
- ・働き方改革により充実した面もあれば、指導面での圧迫も大きい。抜本的な見直しが必要である。
- ・松本校より昼間課程のクラス担任と通信課程の担任として2名担当していただいている。
- ・美容科1名、ビューティビジネス科1名を職員として採用。
- ・学生管理システムの構築。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・学費以外の収入方法は考えているのか→学費以外は法人のため考えていない。
- ・休暇美容師が学べる場所も必要となっていく時代である。サロンのみでは限界があるため、学校と共同していくのも良いのでは。まつ毛エクステ普及により、アイアリスト希望者が増えている。今は、サロンでも動画で学ぶ時代。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・人材確保という点において、どこに投資するのが重要である。給料ベースアップも必要では。→助手からの採用も検討していても良いのでは。そのためには、キャリア保障も必要である。
- ・人材育成において、今の時代はやりたいことからやれば良い。一番はやる気を起こさせる事が大事なのでは。

今後の改善方策

- ・人材育成については、難しい部分もあるが引き続き大切に育成をしていきたい。良い人材がいれば紹介してください。
- ・一応3年制という話はでていますが、今は検討中である。今後、時代に合った学校の在り方を検討していきたい。

(基準3) 総括 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。両校で2学年選択授業はカット&カラー、まつげエクステンション、フォトメイク、ネイル、ブライダルのうち2科目選択を実施した。教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

- ・特化した技術だけでなく、基礎的知識や技術を習得することが必要である。学ぶ習慣のない生徒にとってもやる気が持続できるように指導していく。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。1店舗サロンの変更があったが引継ぎはスムーズに行われ、例年通り行われている。
- ・シャンプー・ヘッドスパ授業、パーマ授業は生徒の興味関心があるカリキュラムとなっている。
- ・資格試験、検定試験などの手合わせや、ジャッジ方法の確認を行っている。
- ・両校研修会で技術力向上の研修を行った。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・非常勤講師の高齢化が進んでおり、後任を検討していかなければいけない。
- ・資格取得に向け、放課後等を活用し個人指導を行い取得率向上に努めている

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・サロン現場に即した技術を学生時代から学べるカリキュラムは素晴らしい。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・選択教科講師として関わらせて頂いている。生徒の皆さんが喜んでもらえているのは素晴らしい。今後も引き続き、在校生満足を大事にしていきたい。

今後の改善方策

- ・新しい指導方法を検討し、前向きに導入していきたい。

(基準4) **総括** 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・日々学校として努力し続けていることは素晴らしい。退学者が居ないことは先生方の努力の賜物である。

今後の改善方策

- ・在校生満足度を一番に考え大事に育成していきたい。

(基準5) **総括** 本校の特色は、夢と希望を持って将来美容師やエステティシャンを目指して入学してくる生徒の夢がかなえられるよう、最大限の指導と協力を惜しまない体制がある。

- ・いつでも相談できるよう体制は整えてあるが、あまり活用されていないのが現状。様々な相談がもっと気軽にできるよう LINE での相談を始めた。
- ・「給付型修学支援」 対象者 1年生12名 2学年17名
- ・コロナ感染症は5類に移行されたが、感染対策についての健康管理は継続して行っている。
- ・課外活動 青年会議所主催子供のお仕事体験に参加(生徒4名) ながの祇園祭参加(生徒11名)
- ・欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行く様協力して取り組んでいる。
- ・様々な事情のある生徒が増え、より一層個々への対応が必要となってきた。
- ・HPなどを利用して、広く卒業生へ支援していける準備をしていきたい。
- ・新2年生対象の就職活動説明会を実施した。(2月29日)

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・健康管理ヘルスケアのセミナー 特に女性が活躍できるサロン・業界になるよう開催している。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より 適切に行われている。

(基準6) **総括** 電子黒板や Wi-Fi などを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

- ・シャンプー実習室、エステ実習室、テクニカルルームなど、水回りや電力の充実した教室を最大限生かして利用をしている。
- ・職員によるものと、外部へ依頼するものを選別して行った。
- ・引き続きオクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・実務実習について、今は中学生から職場体験においても、目的意識を高く持って参加している時代である。目的を持って参加すべきである。これからの人生についての問いがある。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・設備がとても素晴らしく、生徒達は幸せである。研修については、海外研修も含め、時代に合った内容にしてほしい。

今後の改善方策

- ・今後も引き続き、時代に合った研修内容にしていけるよう努力していく。

(基準7)

- ・学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。
- ・令和5年度の入学生の確保は、コロナ禍において高校生・保護者の県内進学への意識喚起につながり追い風となった。しかしコロナ禍が収まり、令和6年度入学生確保は厳しい状況となった。
今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DMチラシを発送した。(3月上旬)
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集に向け、構築完了し、ネット出願応募フォーム作成開始している。(3月中→7月に構築) インターネット振り込み準備完了。
- ・令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始。(9月実施予定)
- ・9月30日実施 beauty collection 2023に向け本格的準備を終え、先生方の協力により、無事開催する事が出来た。在校生にとっても貴重な経験となった様子。
- ・2024年度新パンフレット制作、3月末納品。
- ・HP スマホ対応構築完了。
- ・FM ラジオ・ABN高校野球甲子園イベント告知(5月～8月)
- ・本校希望以外対称+新潟地区美容系希望者対象 DM 発送

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学生募集は難しい時代だが、特色として、先生と生徒が学校の魅力であることは、とても素晴らしい。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・各校定員100名ずつを目指す方策をより具体的に検討し、県外流出しないよう頑張ってもらいたい。

今後の改善方法

- ・学生募集においては、在校生満足度を1番に考え、より良い魅力的な学校。選んで頂ける学校になるよう工夫し、努力していきたい。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員

- ・ボランティアの意味合いにおいて、難しい部分もあるが大事なことは、喜んでもらう事。いろいろな経験を通じて人を育てる環境をつくってあげてほしい。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

(1) 令和6年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和6年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 教育活動

●生活習慣の基本

「素直な心」「元気な挨拶」「社会貢献」

重点目標② 教育環境の整備

●安心して学べる環境

重点目標③ 学生募集

●学生会など学生の自主的活動を促す

●卒業生・業界との連携

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・特に問題はない。業界全体を良くするために、引き続き協力していきたい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・県外に流出しない、力のある学校にしてほしい。非常に努力してくれていると感じているので、引き続き憧れられる学校として頑張してほしい。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

【まとめ】 学校としていろいろな課題があるが、一つずつ前向きに頑張っていきたい。

3. 次回予定

令和6年度第2回学校関係者評価委員会 令和7年2月26日（水） 10：30～